

第一回春日部羽根つき大会

9/17

匠の街春日部で 羽根つき大会開催

埼玉県東部の春日部市は昔から桐箆笥、桐箱、押し絵羽子板、麦わら帽子などの特産品の生産地として知られてきました。匠の街春日部の名を伝えていくためにも、新提案を試み定着させて行かねばなりません。

そこで、十三百年の歴史を踏まえ、押し絵羽子板原点である羽根つきを通して伝統的工芸品と芸術と文化の伝承のため、最近ではめったに見られなくなった羽子板遊びを体験して頂くことで「桐の里春日部」を広め街づくりの寄与したいと考え春日部羽根つき大会の企画を立案しました。子供から大人、お年寄りの方々三世代にわたり、気楽にまた、多くの方の参加可能な大会を目指しております。

新企画として春日部発の「春日部ルール」を設けました。今後は、県内、国内、海外へ発信していくものです。

市内の有志の皆様にご協力をお願いすると同時に大会へご参加くださいますようお願い申し上げます。

大会プログラム

●日程

九月十一日(土曜日) 開催

受付 午前十時から

開会 午前十時三十分

ロビンソン春日部店正面入り口

羽根つき 午前十一時から二時間

表彰・抽選会 午後一時～

●ありよう

春日部羽根つき大会実行委員会

会長 坂田好之

●来賓挨拶

春日部市長 石川良三 様

春日部商工会議所会頭

海老原武士 様

毎日新聞埼玉東支局長 西村隆

共栄大学教授 海老原武

●後援

毎日新聞社

ロビンソン春日部店

●協力

共栄大学

春日部ルール

①道の羽根ルール

向かい合って勝負を競います。

②競技羽子板

春日部羽根つき大会実行委員会認定の桐羽子板を使用。

③コート

直徑三メートルの円の中で行う。

会場により、テーブルまたはロープ等を使用。

④勝敗

下手打ちだけで行う。

サーブはコート内で行う。

コートの外に羽根(無患子・ムクロシ)が落ちたら負け。

三点を先取した人を勝ちとする。

⑤羽根つき黄金ルール

ポイントごとに勝った人は負けた人の顔にXマークシールを貼る。

⑥突き羽根ルール

一人で突く回数を競います。

⑦競技羽子板

春日部羽根つき大会実行委員会認定の桐羽子板を使用。

⑧勝敗

立つか椅子に座るかで行い、羽根が落ちたらX。

三回行い、一番突いた回数が多い点を記録する。

大会注意事項

- ・ 今年の九月の曇りは異常です。みなさん水分と塩分をとり暑さ対策を万全にしましょう。
- ・ 大会会場や歩道から道路に飛び出さないように注意しましょう。
- ・ 大会風景の写真を春日部羽根つき

大会のホームページやマスコット記事に掲載致しますのでご了承ください。

羽根つきの歴史

羽根突き(はねつき)は、十三百年の歴史を持つと言われる。日本の正月によく行われる伝統的な遊戯のひとつで、二人が無患子(ムクロシ)の種子に羽を付けたものを羽子板で打ち合ら女子の遊戯や縁起行為で、元は神事とされる。

女子が健やかに育つようにと願いを込めて行われる神事であり、古くは奈良時代から続く、公家の間で行われた神事や遊戯であり、元は碓杖(さぢやう)と言ったようである。(男子には破魔矢・破魔弓が送られる神事としては様々な弓矢の神事がそれにあたる。)また羽子板を飾る時期が、主に正月から山正月の一月十五日まで飾られることから、この時季に行われることが多い。今回の春日部羽根つき大会は異例のことである。

春日部の押し絵羽子板



羽子板
といえは
浅草が有
名である。
しかし、
浅草の羽
子板市を
彩る多く

の美しい押し絵羽子板は、春日部で作られている。春日部は匠の街である。今回の春日部羽根つき大会を通じて、桐箆笥・桐小箱・麦藁帽子などの匠を誇りとした。

「第二回春日部羽根つき大会」は、十月二十三日と二十四日の春日部商工まつり会場にて開催予定。主催・春日部商工会議所工業部会、後援・金融連、協力・春日部羽根つき大会実行委員会、共栄大学。